

# 標準機 (200V仕様)

## (1) 室外機電源仕様 : 200V 3~ 50/60Hz電源

機種	電源配線		漏電しゃ断器 (地絡、過負荷、短絡保護兼用)	開閉器		配線用しゃ断器 定格電流	アース線				
	配線太さ (mm <sup>2</sup> )	こう長 (m)		開閉器容量	ヒューズ		太さ (mm <sup>2</sup> )	ねじの呼び			
ハイパー	224	14	35	50A	100mA	0.1sec以下	50A	50A	50A	3.5	M5
	280	14	33	60A	100mA	0.1sec以下	60A	60A	60A	5.5	M5

注意 (ア) 配線要領は内線規程 (JEAC8001) に基づいて決められています。

(イ) 表中のこう長・配線太さは、電圧降下を2%以内とした場合のこう長・配線太さを示します。  
配線こう長が上表の値を超える場合は、内線規程に従い配線太さを見直してください。

(ウ) 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合、別途配線用しゃ断器の設置が必要となります。配線用しゃ断器の選定については技術資料を参照いただくか、代理店又は弊社へお問い合わせください。

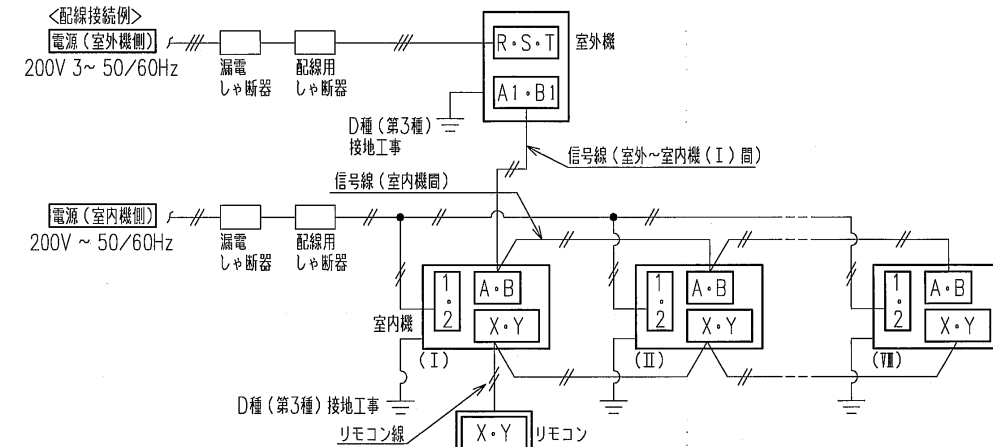
## (2) 室内機電源仕様 : 200V ~ 50/60Hz電源

室内機合計電流	電源配線		配線用しゃ断器 (地絡、過負荷、短絡保護兼用)	開閉器	
	配線太さ (mm <sup>2</sup> )	こう長 (m)		開閉器容量	ヒューズ
2A以下	2	74	10A 30mA 0.1sec以下	10A	10A
3A以下	2	49	10A 30mA 0.1sec以下	10A	10A
4A以下	2	37	10A 30mA 0.1sec以下	10A	10A
5A以下	2	29	10A 30mA 0.1sec以下	10A	10A
6A以下	2	24	10A 30mA 0.1sec以下	10A	10A
7A以下	2	21	15A 30mA 0.1sec以下	15A	15A

注意 (ア) 上記は標準仕様を示します。電源は単相200Vを準備ください。

(イ) 表中のこう長は、室内機を直列に接続した場合の値を示します。また、室内機合計電流別に、電圧降下を2%以内とした場合の配線太さ・こう長を示しています。電流が上表の値を超える場合、内線規程に従い配線太さを見直してください。

(ウ) 室内機への接続線は5.5mm<sup>2</sup>まで可能です。8mm<sup>2</sup>以上は専用プルボックスを使用し、室内機へ5.5mm<sup>2</sup>以下で分岐してください。

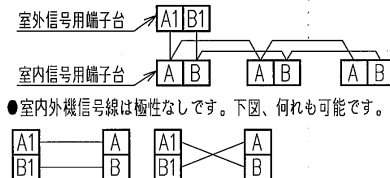


### <室内・室外信号線>

- A1・B1に室内・室外機間信号線をつないでください。
- A2・B2に室外機間信号線をつないでください。

※ループ配線は禁止です。

(1) 室外機1台の場合



## (3) 信号線接続要領

本機では旧通信方式であるスーパーリンク (以下「IBSL」と表記します) とスーパーリンクII (以下「SL II」と表記します) の2通りの通信方式が選択できます。

それぞれ以下の特徴、制限がありますので接続する室内機や集中制御に合わせて選択してください。

SL II未対応の室外機、室内機、集中制御機器が接続されているネットワークに信号線を接続する場合は冷媒系統が別にある旧SLでの通信を選択してください。

通信方式	従来通信方式 (IBSL)	新通信方式 (SL II)
室外機の設定 (SW5-5)	ON	OFF (出荷時設定)
同一ネットワーク内の室内機台数	最大48台	最大128台
同一ネットワーク内の室外機台数	最大48台	最大32台
信号線 (合計長さ)	1000mまで	シールド線以外を使用する場合は2000mまで シールド線 (MVVS) 0.75mm <sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで シールド線 (MVVS) 1.25mm <sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで
(最長長さ)	1000mまで	1000mまで
ネットワークに接続可能な機器	対応機 (FDOP○○○ 3LXシリーズ) (FDOP○○○ 4LXシリーズ) (FDOP○○○ 4SXシリーズ) 混在も可能 (同一冷媒系統内での混在は不可)	対応機 (FDOP○○○ 3LXシリーズ) (FDOP○○○ 4LXシリーズ) (FDOP○○○ 4SXシリーズ)

注: FDTP224, 280形は室内機1台につき通信上は2台分として台数計算してください。

● 信号線はDC5Vですので絶対に200Vの配線を接続しないでください。基板上の保障ヒューズが動作します。

① 信号線に200Vが印加されないようになっていることを確認してください。

② 電源投入前に信号線端子台抵抗をご確認ください。信号線端子台抵抗が100Ω以下の場合、電源線を信号線端子台に接続している可能性があります。

3型以降のユニットだけが接続されている場合

抵抗値の目安=5100/接続台数

2型以前のユニットだけが接続されている場合

抵抗値の目安=9200/接続台数

3型以降と2型以前のユニットが混在して接続されている場合

抵抗値の目安=46000 / ((2型以前の接続台数×5) + (3型以降の接続台数×9)) です。

接続台数には室内機・室外機・SL機器を含みます。

抵抗値が100Ω以下になる場合は同一ネットワーク上の室内機台数を減らすため、一時的に信号線を外して複数のネットワークに分離し、個別に確認してください。

## (4) リモートコントロール配線仕様

● リモコン線は0.3mm<sup>2</sup>が標準です。延長は600mまで可能です。

100m以上の場合は、右表に示す配線を使用してください。

● 接続室内機がFDOP○○○ 3LXシリーズ、FDOP○○○ 4LXシリーズ、FDOP○○○ 4SXシリーズでは2心を使用してください。

長さ (m)	配線太さ
100~200以内	0.5mm <sup>2</sup>
~300以内	0.75mm <sup>2</sup>
~400以内	1.25mm <sup>2</sup>
~600以内	2.0mm <sup>2</sup>

適用機種	FDCVP2244, 2804HSX FDCVSP2244, 2804HSX	
形式	FDC	
発行者	名称 坪野 要目表 (配線接続図)	
130703	図番 PCB003Z691	訂符 1/1